

<p>手)</p> <p>○田口裕士 議長 そのままでしばらくお待ちください。しばらく休憩します。</p> <p>午後2時31分休憩</p> <p>~~~~~</p> <p>午後2時32分開議</p> <p>○田口裕士 議長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。大変申し訳ございませんでした。</p> <p>当局の答弁を求めます。</p> <p>〔大森雅夫市長登壇〕</p> <p>○大森雅夫 市長 それでは、私は公共交通の関わり方というところであります。</p> <p>我々としては、この市民の移動手段である公共交通を守っていかなければならないということが一番頭にあったわけでありまして。特に路線バスは、コロナ禍によって利用者が減少している。また、2024年問題、ほかの運転手不足も深刻化しており、対策は待ったなしの状況であります。そういう中で、公設民営方式の導入というのが、則武議員おっしゃるような今回の計画の一つの鍵であったことは間違いないだろうと思っております。今回は、各議員の皆さん全体として本当に評価していただいている、大きく方向転換したという面ではそのとおりで評価もありがたいと思っておりますが、実際はこれからでありますし、様々な問題も出てくるんじゃないかなと思っております。技術的な問題は、乗換えによって不便になるというような話もありますし、何といたっても公がここまで乗り出してくる、もっと乗り出すべきだという議論も出てくるでしょうし、自分のエリアはどうなっているんだという議論も出てきます。我々当然限られた財政の中でやっていかなきゃなりません。コストとパフォーマンス、これらを見ながらバランスを取ってやっていかなければならないと思っております。そういう面では、我々これからよちよち歩きでスタートするということになるわけでありまして。議員の皆さん方もそういう視点で一緒になってこの公設民営に我々も入っていった、この公共交通問題をいい形で育てていただければと思います。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>	<p>○平澤重之 都市整備局長 1の岡山市の公共交通についてのうち、市長答弁以外についてお答えします。</p> <p>まず、利便増進実施計画についてのうち、10方面は最適解かというお尋ねと隣接市との連携、運賃体系構築についてです。</p> <p>今回の計画は第1弾として取りまとめたものであり、路線の再編や新設については10方面に限らず今後も必要に応じて法定協議会で議論してまいります。</p> <p>なお、岡南方面、牛窓方面の再編では、玉野市、瀬戸内市につながる支線を設けるため、調達する小型車両の費用負担等について隣接市としっかり連携していきたいと考えております。</p> <p>利用しやすい運賃体系の構築については、公共交通の利便性向上と経営の安定化を図る上で路線再編と同様に非常に重要な課題であり、引き続き事業者と具体案について議論していきたいと考えております。検討の方向性としては、中心部や初乗り運賃を利用者の許容範囲で見直すとともに、中長距離はゾーン線など分かりやすく利用しやすい運賃に変更してまいりたいと考えております。</p> <p>次に、10方面全て実施か、準備はどう進めるのかと令和7年開始の妹尾、庭瀬拠点間の支線の準備についてです。</p> <p>実施計画が国に認定された後、全ての方面で実施に向けた準備に着手したいと考えております。具体の準備として、バス停の位置やダイヤなどの詳細な運行計画を策定した上で幹線と支線の乗り継ぎポイントでの上屋やベンチ、デジタルサイネージの設置や直通運賃設定のための決済システムの改修など乗り継ぎ環境の整備を実施します。また、小型車両の調達や新設区間のバス停設置を行い、広く市民の皆様様に周知を図った上で運行を開始することとなります。</p> <p>今回の再編のうち、例えば妹尾駅と北長瀬駅をつなぐ支線では幹線バスとの乗り継ぎ環境の整備が不要であり、また事業者が所有している小型バスを活用するため令和7年度中の運行開始を想定しておりますが、その他の路線についても準備が整い次第順次運行を開始していきたいと考えております。</p>
---	---